

＜作業療法士＞日本作業療法士協会ホームページより掲載

作業療法は、人々の健康と幸福を促進するために、医療、保健、福祉、教育、職業などの領域で行われる、作業に焦点を当てた治療、指導、援助である。作業とは、対象となる人々にとって目的や価値を持つ生活行為を指す。

(註釈)

・作業療法は「人は作業を通して健康や幸福になる」という基本理念と学術的根拠に基づいて行われる。

・作業療法の対象となる人々とは、身体、精神、発達、高齢期の障害や、環境への不適応により、日々の作業に困難が生じている、またはそれが予測される人や集団を指す。

・作業には、日常生活活動、家事、仕事、趣味、遊び、対人交流、休養など、人が営む生活行為と、それを行うのに必要な心身の活動が含まれる。

・作業には、人々ができるようになりたいこと、できる必要があること、できることが期待されていることなど、個別的な目的や価値が含まれる。

・作業に焦点を当てた実践には、心身機能の回復、維持、あるいは低下を予防する手段としての作業の利用と、その作業自体を練習し、できるようにしていくという目的としての作業の利用、およびこれらを達成するための環境への働きかけが含まれる。

引用元(例：一般社団法人日本作業療法士協会 ホームページ

(<https://www.jaot.or.jp/about/definition/>)より引用)

さらに詳しく知りたい方：https://www.jaot.or.jp/ot_job/

当院の作業療法士は下記のコンセプトに基づきリハビリテーションを実施していきます！

**わたしたち作業療法士は
その人らしい「暮らし」のために
生活行為を一緒に組み立てる職種です。**

<生活行為とは？>

人が生きていく上で営まれる生活全般の行為を指しています。例えば、家事や仕事、趣味などの余暇活動や、着替えや食事などのセルフケア、地域での活動などあらゆることが含まれます。



人の生活は多種多様です。また、人それぞれ大切にされてきた事柄は違います。当院の作業療法士は「その人らしい生活」を大切にしています。それを実行するために、どのような事を大切に生活をしてきたのかを教えて頂き、確認した上で専門職として情報提供(相談)をしていきます。また、ご自身が体験できる機会を作り、考えた上でより良い決定ができるプロセスを大切にした支援を行っていきます。

リハビリを「やりたい」へ変えていくために

当院の作業療法士はご自身が望む生活を実現するために「してもらおう」リハビリから「やりたい」リハビリへ変えていくために、ADOC というシステムも導入しております。



ホームページのリンク <http://adocproject.com/>

リハビリテーションの目標において、目標設定が不明瞭であるために「**なんのためにリハビリしているのだろう？**」と理解が不十分なままリハビリテーションを実施している方もいらっしゃいます。ADOC ではイラストを選びながら作業療法士と話し合うことで、自分の意見や気持ちをリハビリテーション専門家に伝えやすくなります。意欲的にリハビリテーションを実施することはその後の能力改善に大きな影響を及ぼすことは明白です。我々作業療法士は患者様の「**これをやりたい！これが出来るようになって帰りたい！退院したらこれをやろう！**」など目標を引き出します。面接のスペシャリストである作業療法士と一緒に協議を行い、最適な目標設定を考えていきます。